

平成 25 事業年度

決 算 報 告 書

自：平成 25 年 4 月 1 日

至：平成 26 年 3 月 31 日

国立大学法人富山大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	13,201	14,290	1,088	(注1)
うち補正予算による追加	1,031	1,031	-	
施設整備費補助金	7,701	4,253	△ 3,447	(注2)
うち補正予算による追加	190	190	-	
補助金等収入	748	949	201	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	67	67	-	
自己収入	21,301	21,783	481	
授業料、入学金及び検定料収入	5,683	5,222	△ 460	(注4)
附属病院収入	15,425	16,065	640	(注5)
雑 収 入	192	495	302	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,021	1,983	△ 38	(注7)
引当金取崩	-	16	16	(注8)
長期借入金収入	3,080	3,068	△ 11	(注9)
目的積立金取崩	-	114	114	(注10)
計	48,122	46,526	△ 1,595	
支 出				
業務費	33,129	33,575	446	
教育研究経費	18,366	17,609	△ 756	(注11)
うち補正予算による追加	833	189	△ 643	
診療経費	14,763	15,966	1,202	(注12)
うち補正予算による追加	198	197	△ 1	
施設整備費	10,848	7,389	△ 3,459	(注13)
うち補正予算による追加	190	190	-	
補助金等	748	949	201	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,021	1,954	△ 67	(注15)
長期借入金償還金	1,373	1,347	△ 26	(注16)
計	48,122	45,216	△ 2,905	
収 入 - 支 出	-	1,310	1,310	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、補正予算（第1号）復興関連事業の措置による増、退職手当の前年度からの繰越額が当初見込みより増加したことなどにより、予算額に比して決算額が1,088百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業の計画変更によって今年度の執行金額が減ったため、予算額に比して決算額が3,447百万円少額となっており、同額が翌年度へ繰越となっております。
- (注3) 補助金等収入については、当初見込額より201百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料及び入学料免除の実施により、予算額に比して決算額が460百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、検査件数の増加及び化学療法の外来移行に伴う外来診療単価増、手術件数の増加などに伴う入院単価増などにより、640百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として研究関連収入の増により、予算額に比して決算額が302百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、見込み額を過大に見積もっていたことから、予算額に比して決算額が38百万円少額となっております。
- (注8) 引当金取崩額については、予算段階で予定していなかった引当金の取崩しにより、予算額に比して決算額が16百万円多額となっております。
- (注9) 長期借入金収入については、事業計画の変更により、借入予定額に比して11百万円少額となっております。
- (注10) 目的積立金取崩については、目的に沿った使用のための取崩しにより、予算額に比して決算額が114百万円多額となっております。
- (注11) 教育研究経費については、復興関連事業（H24補正予算）の翌年度への繰越額643百万円などにより、予算額に比して決算額が756百万円少額となっております。
- (注12) 診療経費については、診療報酬請求額増に伴う医療経費の増、業務委託費の増などにより、予算額に比して決算額が1,202百万円多額となっております。
- (注13) 施設整備費については、事業の計画変更によって今年度の執行金額が減ったため、予算額に比して決算額が3,459百万円少額となっております。
- (注14) 補助金等については、（注3）に示した理由により、予算額に比して決算額が201百万円多額となっております。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注7）に示した理由により、予算額に比して決算額が67百万円少額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、予算策定後の金利の見直しにより、予算額に比して決算額が26百万円少額となっております。

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示しています。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息252百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示されております。